

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS
 人類に奉仕するロータリー ROTARY SERVING HUMANITY
 2016-17 年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00
 例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋
 創立:2013 年 6 月 5 日
 会長:櫻井 孝充 「信頼に基く寛容と選択」



ガバナー公式訪問・合同例会

日時:2016 年 9 月 2 日 (金) 12:30~13:30
 場所:名古屋東急ホテル 4 階 ルネッサンスの間

- 斉唱 君が代・奉仕の理想
- 司会 金田 剛士 名古屋北 RC 会場設営委員長
 (名古屋北 RC・葵 RC・名古屋アイリス RC による 3 RC 合同例会)

■ 出席者報告 出席者数 25 名 / 会員数 37 名
 出席率 67.56%

前々回(第 148 回)修正出席率は 89.18% (33/37)

■ ビジター・ゲスト

2016-2017 年度ガバナー 服部 良男
 2016-2017 年度地区幹事 岩月 昭佳
 2016-2017 年度地区事務長 加藤 博巳

■ ニコボックス報告

今日の例会は、ガバナー公式訪問の為、ニコボックス報告、出席報告、各委員会報告、幹事報告はありません。

■ 3 RC 会長挨拶

葵 RC 加藤寛治朗会長



本日は、服部良男ガバナー、岩月昭佳地区幹事にお越しいただき、名古屋北・名古屋アイリス・名古屋葵合同での、ガバナー公式訪問例会です。服部ガバナー並びに岩月地区幹事には、大変お忙しい中をご訪問いただき、先ほどの会長・幹事との懇談会では、これからの私たちのクラブ運営に貴重なご意見をいただくことができました。感謝申し上げますとともに、本日の服部ガバナーの卓話を大変楽しみにしております。また、名古屋北ロータリークラブ様には、例会を設営いただきましたことを御礼申し上げます。

さて、ジョンF・ジャームRI会長は「人類に奉仕するロータリー」を今年度のテーマに掲げられ、服部ガバナーは「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」を地区テーマとされました。服部ガバナーはロータリーの5つの中核的価値をロータリーブランドとされ、そのブランドを我々が再認識し、自ら参加し、そして地域の人々に伝えることで、新しい仲間を見つけようと呼び掛けられています。

私たち名古屋葵ロータリーは今年度「個性輝く柔軟なクラブ」をテーマとしました。12年目を迎えますが、20名の小さなクラブです。少人数ではありますが、会員それぞれの多様な個性を生かし、気楽な楽しさを演出しながら親睦を深めたいと思います。また今年度は12クラブで提唱する名古屋名城ローターアクトクラブの提唱主管も務めさせていただいております。名古屋名城ローターアクトクラブ

もアクトの地区ホストを今年度担当しておりますので、積極的に支援しながら、青少年奉仕、さらには地域の社会奉仕等の活動を一層充実させていきたいと思っております。本日はよろしくお願ひします。

名古屋アイリスRC 櫻井孝充会長



本日は服部良男ガバナー、岩月昭佳地区幹事、加藤博巳地区事務長をお迎えしての、3クラブ合同ガバナー公式訪問を迎え大変うれしく思います。そして我が名古屋アイリスロータリアンもこの日を楽しみにしておりました。

服部良男ガバナー年度に成り、2か月が過ぎました。服部ガバナー年度の今年、何かしら新しい息吹を感じます。

皆様もそう感じておられると思ひます。

地区の重点課題、地区のビジョン「10年後 20年後も地区の輝きが持続可能であること」「ソーシャルメディアの活用」を掲げ、益々のロータリーが躍進することを望みます。

また、この度の名古屋北ロータリークラブ皆様の、会場設営ご手配段取り等には心より感謝申し上げ、名古屋アイリスロータリークラブ会長のご挨拶とさせていただきます。

感謝。

名古屋北RC 各務修会長



本日は、服部良男ガバナー、そして、岩月昭佳地区幹事、加藤博巳地区事務長にご来訪いただき、名古屋葵ロータリークラブ、名古屋アイリスロータリークラブとの合同例会を開催させていただきます。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

また、先ほど当ホテルにおきまして、名古屋葵ロータリークラブ、名古屋アイリスロータリークラブと合同で会長・幹事懇談会を開催させていただきました。服部良男ガバナーより、今後のロータリーのあり方や地区のご示唆をいただき、深く感謝しております。当クラブの今後の運営に生かしていきたいと考えております。

後ほど、ガバナーよりお話しをいただきますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

さて、今月は基本的教育と識字率向上月間です。そこで本日は道徳心についてお話しします。

最近の社会現象には、1年くらい前の川崎の事件、今回の埼玉の事件といい、理解不能な殺人やいじめ、またいじめによる自殺、振り込め詐欺等の犯罪が毎日のように報道されるのを聞くにつれ、悲しむべき事柄が多すぎると感じます。皆さんもそう感じることと思ひます。

それは、根本的に道徳心の教育が、家庭でも学校でも公共の場でもなされていないからだと思ひます。道徳教育がどうのこうのと言うと、日教組を含め戦前教育の再来だと馬鹿げたことを言う人々もいますが、江戸時代には儒教精神を武士に限らず、庶民や子供までもが寺小屋で学び、親からも学んでいたそうです。明治時代には、教育勅語という中で、道徳や終身という教育がなされ、道徳心が養われてきた

と思います。

しかし、昭和21年以降、GHQが来て教育基本法ができ、その中で自由について、個人主義や権利、義務等はうたわれていましたが、道徳や終身といった項目はすっぽり抜け落ちていました。その後、学校教育は言いすぎかもしれませんが、勉強についていけない子供を放置し、偏差値教育に基準を置き、道徳心教育は薄れてしまいました。

そうは言っても、あの東日本大震災が発生した時に、警察官、自衛官、海上保安官の救援に立ち向かう姿、なによりも被災された多くの人々の整然とした助け合いの姿が、本来日本人が昔から培ってきた道徳心を不幸にして、大震災によって呼び起されたと思います。そして、絆という言葉となって近年の言葉と漢字となりました。日本人はまだまだ捨てたものではありません。

“道徳終身ということをもう少し考えてみてはいかがでしょうか”と私はと思いますが、皆さんはどうお考えでしょうか。

■ガバナー服部良男卓話



ジョンジャームご夫妻は、星条旗からも分かる通りアメリカ人で、ロータリー歴40年、特にR財団、ポリオプラス委員長をされ、財団とポリオに関しては歴史が長く、ビルゲイツ財団とのマッチングも、彼がビルゲイツさんとお話をされたと同っております。

また、来年の国際大会がアトランタで行われるということで、アメリカは大変盛り上がっているようです。

サンディエゴの協議会の中で、国際ロータリーの

テーマをR I会長から発表されますが、今回は「Rotary Serving Humanity 人類に奉仕するロータリー」です。

また、「ロータリー財団100周年を祝いましょう。」ということと「ポリオを撲滅しましょう。」という2つの大きなテーマがございます。R I会長からは各クラブでもR財団の100周年をぜひお祝いしていただきたいという要請がございました。ぜひ、クラブでも財団100周年を祝った行事を行ってください。

そして、100年前、財団が始まった年にアトランタで国際大会が開催されました。それから100年後、またアトランタで国際大会が開催されるということで大変盛り上がっております。今年は特にR I理事に当地区の斎藤パストガバナーが就任されておりますので、ぜひ国際大会にこぞってご参加いただきたいと思います。

◆R Iテーマの解釈

それでは、ジョンFジャーム国際ロータリー会長の思いを私なりに解釈してお話ししたいと思います。

「人類に奉仕するロータリー」R Iからみたら「人類」であるし「奉仕する」でいいんですが、我々ロータリークラブ、ロータリアンにとってみるとロータリーは人々に奉仕し続ける、この「Serving」というのがキーワードかと思います。

「Rotary」と「Serving」と「Humanity」3つをくっつけてテーマにしたとてもいいテーマだと実感しています。ロータリーそのものであるわけであります。ServesではなくServeでもなくServingというのは絶えず奉仕し続ける事だと理解しています。

R I会長のスピーチでは「Every Rotarian should be serving for people every day.」すなわち「ロータリアン個人個人は毎日奉仕活動をしましょう」また、「困っている人がいたらその人を笑顔にしましょう。これがロータリアンです。」これがR I会長の大きなメッセージだと思います。R Iからみたら人類

ですが、我々からみたらそこにいる個人個人に奉仕するという事ではないかと思っております。

R I 会長は「ロータリアンは、困っている人がいたら、背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕で、その結果人が笑顔になること、仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げること、それがロータリーです。」と協議会の最後のプレゼンテーションでスピーチされました。これがR I 会長が我々に伝えたい事だと感じ、サンティエゴから帰ってまいりました。

当地区の会員数の推移では、一時期6,000人を超えていたものが、今年度は4,744名でスタートしています。2割以上減っています。現在、国際ロータリーの会員は約123万人、日本が88,000人約7パーセントです。財団への寄付も7パーセントから8パーセントくらい。残りの93パーセントがどうなっているのか…先進国のアメリカ、イギリス、オーストラリアが2割以上減っています。日本もこの中に入っています。12万人いた会員が8万8千人まで減っています。唯一ドイツが先進国の中で会員数が増えている国で、女性会員が増えていると聞きました。

では、この会員数が減っていく中でR I 会長だったら、R I 役員だったら我々はなにをするか…もし、会社経営者でこの右肩下がりの会員数が売上げだったら…もちろんコストカットや経費カットを行いますが、それだけではこの右肩下がりには変わりません。この時、最初にやらなければならないのは、ブランドマーケティングだと思います。もう一度、わが社の強味、価値、ブランドが何だったのかという事を再認識することが第一だと思います。そして、そのブランドというものを社員全員で同じように共有することが第2のステップです。3番目はこのブランド、強味、価値を使ってメーカーであれば商品を作る、サービス業であればサービスを作り上げる事。これが3番目のステップです。そしてサービスを作ったら、今度は何をやるか…マーケティングです。そのブランドをお客様にいかにか届けるか…とい

うマーケティング、これが国際ロータリーが現在考えているステップで、「戦略計画」と呼ばれています。要するに、どうやってロータリーのブランド価値を再構築し、ポジショニングしてマーケティングをしていくのかということだと理解しています。

では、国際ロータリーは何をしたのか？コンサルタントを使ってロータリーのブランドを決めました。国際ロータリーはこのブランドの中核的価値、コアバリューズを5つ定義しました。

ひとつ目が「F e l l o w s h i p ・ 親睦」です。F e l l o w とは、同じ目的を持った仲間のこと。S h i p とはその関係を維持すること。日本語になおすとこれが親睦と訳されます。

2番目、ロータリーの一番原点である「I n t e g r i t y (高潔性、倫理性)」これが、ロータリーの2番目のブランド・価値です。これはもちろん4つのテストが原点になります。各ロータリアンが生活の中で、職業の中で、ロータリーの奉仕活動の中でこの倫理観・高潔性を持って活動をするということです。

3つ目は「D i v e r s i t y」すなわち多様性です。ボランティアをするグループで世界200カ国、性別、宗教を超え会員が123万人いる組織は他にはないと思います。逆に言えば多様性=寛容さを持っていないとこの組織は維持できない。しかし、111年かけてロータリーは多様性を価値として作り上げてきました。

そのつぎの価値はL e a d e r s h i p (リーダーシップ)。これもご承知の通り、各地区のリーダーが集まってロータリークラブは出来ている訳でありますので、このリーダーシップがロータリーの最も素晴らしい価値であるというのは皆様ご承知だと思います。ロータリーのリーダーシップというのはビジョンを実現できること、シップとはリーダーであり続ける事。すなわち、ロータリーのいろいろな奉仕活動を通じてリーダーシップを磨いていくこと。これが4つ目のブランドであります。

最後に、「S e r v i c e (奉仕)」です。いままでの

4つはロータリーあるいはロータリアンが持っている特徴ですが、5番目の奉仕だけが、ロータリアン、ロータリーが人々に与えられる唯一の言動や行動です。困っている人がいたら、一緒に考えてできることをする。そしてその人を笑顔にするという言動や行動。ロータリアンの奉仕というのは親睦・高潔性・多様性・リーダーシップを持って奉仕活動をしよう、これがロータリーのブランドであります。強みです。このことをみんなで理解し、再認識して、共有していきましょう。というのが戦略計画の一番中心的な考え方だと思っています。

奉仕とは定義するものでなく、笑顔でない人を笑顔にする言動、行動です。人を笑顔にするには、ロータリアンは、Integrity(高潔性)を持ち、Diversity(多様性)を受けいけられる寛容さを持ち、Leadership(問題を分析し、企画しアクションを起こす)をもって奉仕活動をしなければなりません。そのためには、我々が笑顔でなくてはいけない、それがFellowship・親睦活動です。親睦を通じて我々自身が笑顔になり、困っている人を笑顔にする、これがロータリーの活動であると思っています。

SERVICEとは、物がついている場合と、ついていない場合があります。例えば、教育とかは物がなく先生と生徒がその場所で価値を伝えていく。物がある場合…例えばホテルの場合、食事に何かの付加価値をつけ喜んでもらう、笑顔になってもらう。

いろいろありますが、要は、人が何かの価値を相手に与える言動・行動の結果、受けた人がその言動に感謝する「ありがとう」「おいしかった」「よかった」と笑顔になる。この笑顔の共有が奉仕活動であると考えられるのではないかと思います。

このことが、ジョンFジャームさんが示された「Serving Humanity」という言葉に含まれているのではないかと私は感じております。

しかし、どんなにいいことも持続可能にするには資金が必要です。ビジネスでは価値を提供して笑顔に

なっていたお客様から対価をいただき、それを持続可能にして給料を払い、また持続可能にする。公共事業では住民の税金で持続可能にしていく。学校などでは保護者から対価をいただき、半分は税金の一部をいただいています。ロータリーが行う奉仕活動、人を笑顔にしていく活動を持続可能にするにも資金が必要です。それが、会費や財団への寄付です。アーチフランクが財団を作って、ちょうど100年。この財団がなければ、たぶんロータリーの奉仕活動は100年続かなかっただろうなと思います。ロータリーが111年、財団が100年、この両輪があって、笑顔の共有が出来たのではないかと私は理解しています。

私は地区のローターアクト委員会に出向して以来、ずっと会社の社員をローターアクターにしてきています。もう15人くらいになります。1人は40歳になりました、その後も役員や部長等になり、みんなローターアクターとしてロータリーの奉仕を勉強してきました。会社では絶対に勉強できない事、自分が会長になり、苦勞しながら人を使う事等を勉強してきました。ローターアクターがロータリーを勉強して会社に帰って来て、社長のしていることはロータリーと違うという訳にもいきませんので、ロータリーそのものが会社の中のひとつの理念として生きているというようにしないと、ギャップができてしまう。このあたりを社員たちと一生懸命やってまいりました。

私が1979年にアメリカのビジネススクールで勉強したことは、とにかく株価をあげろ、売り上げをあげろという事でした。82年に日本に帰って来て10年くらいは経済が右肩上がりでしたが、バブルが崩壊し20年ほど低迷しています。アメリカで勉強してきた通り、株価を上げろ、売り上げを上げろと頑張ってきたんですが、社員もお客さんもハッピーじゃない。社員がパッピーじゃないと社長もハッピーじゃないなと感じ、なにか忘れていないか…とローターアクターと話した結果、ロータリーの高潔性をもってやる調和の奉仕、シェルドンが言った、

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というのが企業でも一緒だなと気が付きました。ロータリーの職業奉仕というのは、対価を目的としないこと。サービスというのはロータリーだけでなく、企業にとっても一番の理念かなと考えております。

◆地区方針

Be The Rotarian, Find A Rotarian

～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～

- ・ロータリーのブランドを認識し、磨きましょう。
- ・人道的奉仕活動に参加し、人を笑顔にしましょう。
- ・仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブランドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましょう。

会員増強といいますが、会員増強であっても我々ロータリアンが笑顔で奉仕活動をして笑顔になった人たちと笑顔の共有をしているところを新たな仲間が見て、私もロータリアンになりたいというようにしないと、なかなか本当の意味での会員増強ができない。そういう意味では、まず我々が真のロータリアンになろうということでもあります。

そして、もう一つ重要なことは、私の仕事は今年何かをするのではなく、この地区が10年後、20年後も持続可能であるための手を打つ事であると理解してまいりました。

会社の過去がこうだからといって若い人は入社しません。この会社のビジョンはこうだ。10年後はこうなる。だから若い社員が必要なんだ。といって始めて入ってくるのです。そこがロータリーが今まであまりしてこなかったことです。ここがR Iの戦略計画の一番のポイントであるというふうに理解しています。

重点の戦術といたしまして、ロータリーのブランドの再認識及び共有をマイロータリーというツールを使ってやりましょうとなっています。5つのブランド及び奉仕活動や人の笑顔を共有し、再認識しましょう。これが、マイロータリーというツールです。

そして、クラブセントラルは、各クラブがどのような構成でどういう奉仕どのようにやっているのかをお互いに知りましょうというものです。2つともロータリーの認知度の向上のためのツールであります。最後に、ソーシャルメディアを使って地域の人々の認知度を高めましょう。今年、唯一お願いしているのは、マイロータリーの登録率を50パーセントにしましょうという事です。入会3年未満の会員の登録率を100パーセントにしましょう。これだけぜひお願いいたします。現状の登録率は、名古屋北16人で14.8%、名古屋葵6人で30.0%、名古屋アイリス6人で16.2%です。目標達成を今期中によりしくお願いいたします。

そのためには、どうするのか？マイロータリアンを選任してください。各クラブで登録が出来る人を選任し、マイロータリーへの登録利用をクラブ内で促進してください。地区はお手伝いいたします。マイロータリアンは、マイロータリーにどんな情報が掲載されているのか広めていただきたい。ソーシャルメディアを使って公共イメージが向上されるようなお手伝いをして下さる方をマイロータリアンに選任してください。

現在、公共イメージ向上のために地区のHPを変えています。ガバナー活動の中に、ガバナー訪問の記事も掲載しています。フェイスブックも立ち上げました。ツイッター、インスタグラムも立ち上げました。ぜひ見ていただきたいと思います。今までは、ロータリーは人を笑顔にすることをしているのだという事を各自治体や地域、いろいろな組織に伝えていなかった。これからは、ぜひ、積極的にこのようなツールを使って伝えていただきたいと思います。今、R Iの戦略を地区の戦略と置き換えると、人道的奉仕の重点化と増加です。とにかく人道的奉仕…人を笑顔にすることを各ロータリークラブ、ロータリアンが実行しよう。これが原点です。これがジョンFジャームさんのテーマであります。認知度の向上はマイロータリーを使う事、クラブセントラルを利用することです。公共イメージの向上はSNSを

使って地域の人々にロータリーのブランドを伝える事です。クラブのサポートと奉仕活動強化、これは究極の目的です。各クラブの人道的奉仕が増えてクラブが活性化し、会員の基盤向上になり、新会員が入っても楽しい、人道的奉仕をしたいという人を作り上げる事がR Iの戦略です。

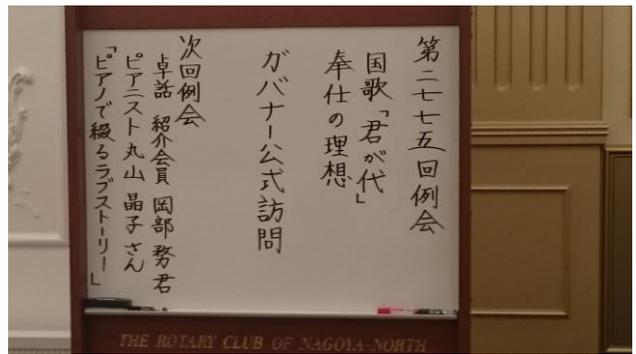
最後に人道的奉仕活動の尺度、これはクラブセントラルにあります。今までクラブの活性化を測る尺度がありませんでした。これを明確に測るために「奉仕に参加するボランティアの人数」×「奉仕時間」これが実際に増えることが人道的奉仕活動の活性化です。奉仕活動に参加する人数が年々減り、奉仕時間が減っていき、ただ寄付をすればいいというような形になりつつあるものを、もう一度新たにいろいろな人を巻き込み、時間をかけて奉仕活動を行っていく。このような奉仕活動をやるとなるともう少しクラブに自由度を与えないと、例会だけやっていたら奉仕活動はできない。ならば、もう少し例会を減らして奉仕活動を増やすような自由度をクラブに与えてもいいなというのが、今回R Iがクラブに与えた例会の自由度、柔軟性かなと考えております。

ぜひ、この辺のところを先進的に取り組んでいらっしゃる名古屋北、名古屋葵、名古屋アイリスさんで、当地区のモデルクラブとなるよう引っぱっていただきたいと思います。

先ほど申しあげましたように、地区のホームページを変えました。ぜひご覧ください。フェイスブック、名古屋北RCは朝倉さん、水野さん、矢形さんがいろいろやっています。ありがとうございます。今後ますます多くの会員がSNSをやっているだけであればありがたいと思います。

最後に、私の仕事は皆様方の人道的奉仕活動…笑顔でたのしく価値ある人道的奉仕活動を一緒にするお手伝いをすることですので、ぜひ皆様に頑張ってもらいたいと思います。

■ガバナー公式訪問会場風景



今回の例会は、東急ホテルにて3RC合同ガバナー公式訪問例会でした。

以上